

CSS-400Sw'er

複数 Keyer の連動 ON/OFF 設定方法について

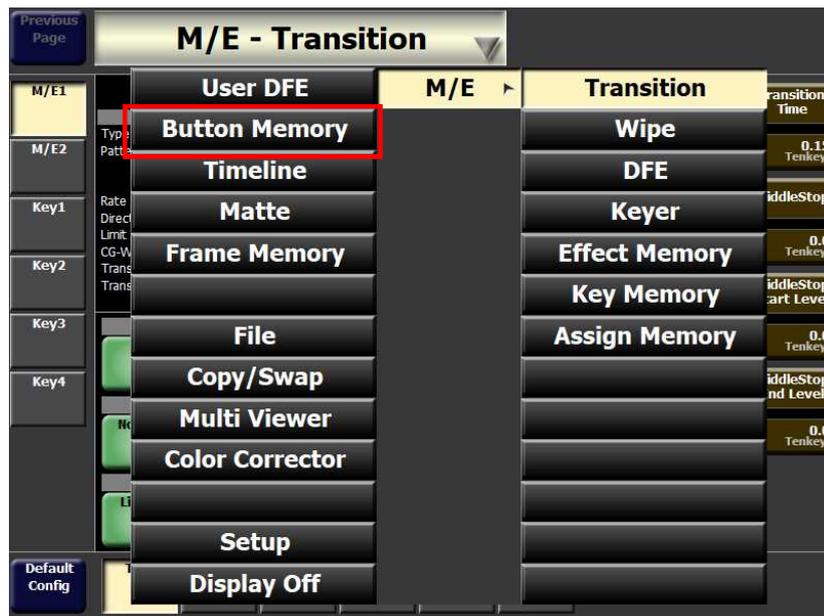
はじめに

Bttn Memory 機能を使うことで、複数の Keyer の ON/OFF が実行できます。
また、GPI からの Key Remote Box 制御の設定を Bttn Memory に登録したメモリに設定することで、Key Remote Box での制御も可能となります。

事前準備：登録する Key の ON/OFF 釦は“OFF”の状態として下さい。

【Button Memory 手順】

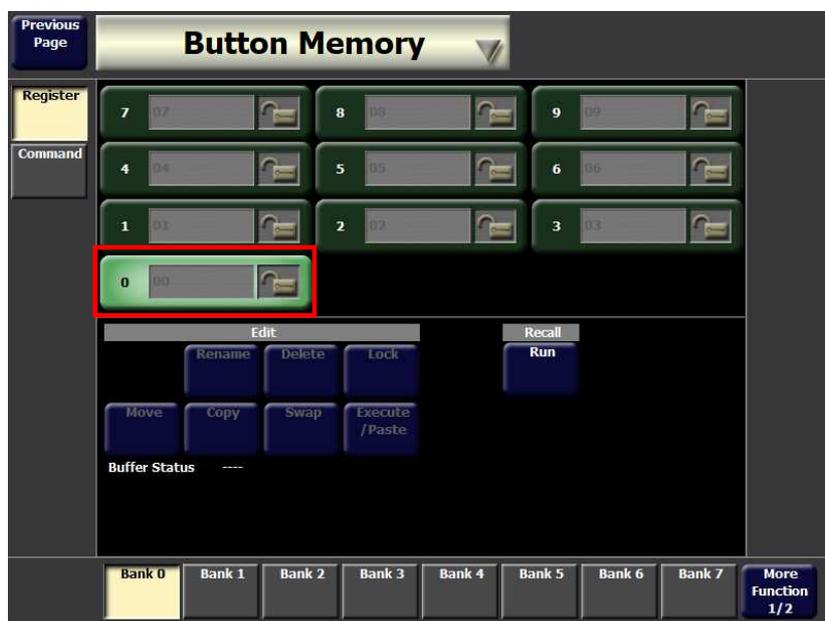
手順 1：Button Memory メニューに遷移して下さい。(画像 1)



画像 1

手順 2 : 登録するレジスタ番号を選択します。(画像 2)

(ここでは、00 番に登録で説明します。)



画像 2

手順 3 : REC 釦を押下後、New 釦を選択して下さい。(画像 3)

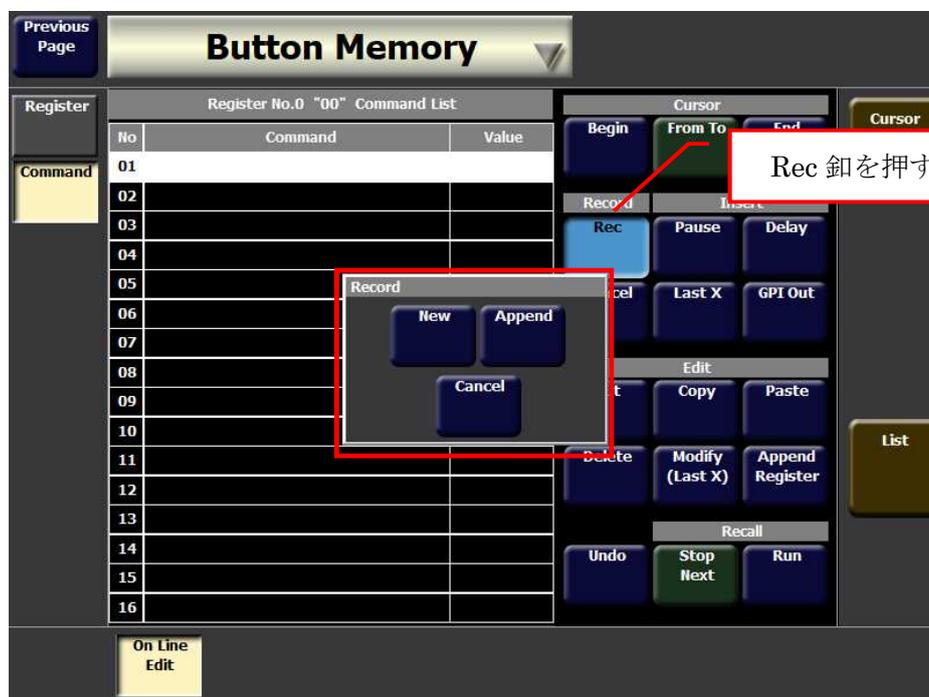


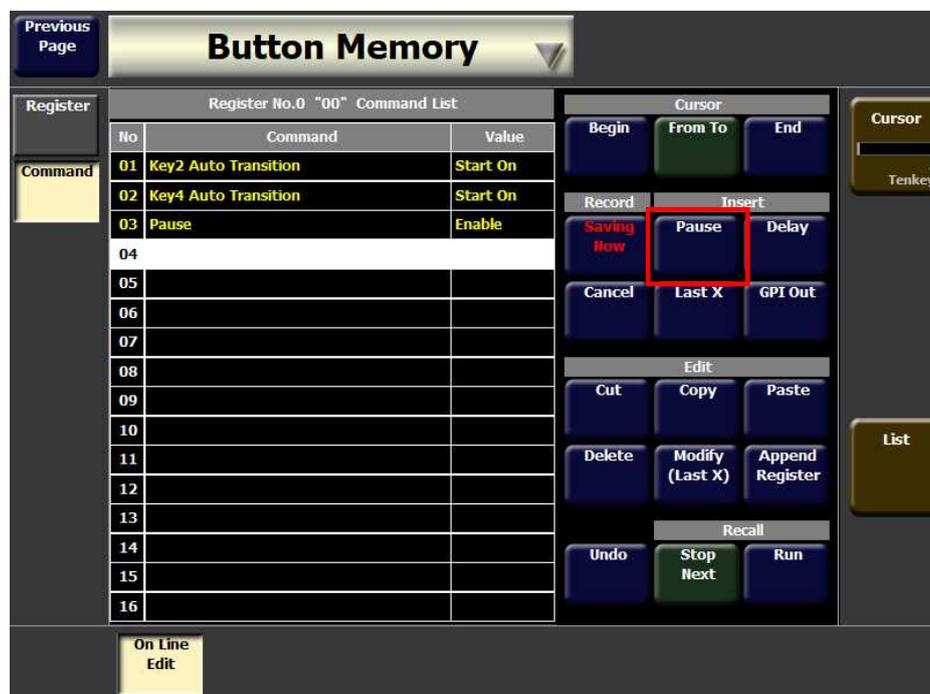
写真 3

手順 4 : 操作卓より、登録する Key 釦を ON して下さい。(画像 4)
(ここでは Key2 と Key4 を ON での登録で説明します)。



画像 4

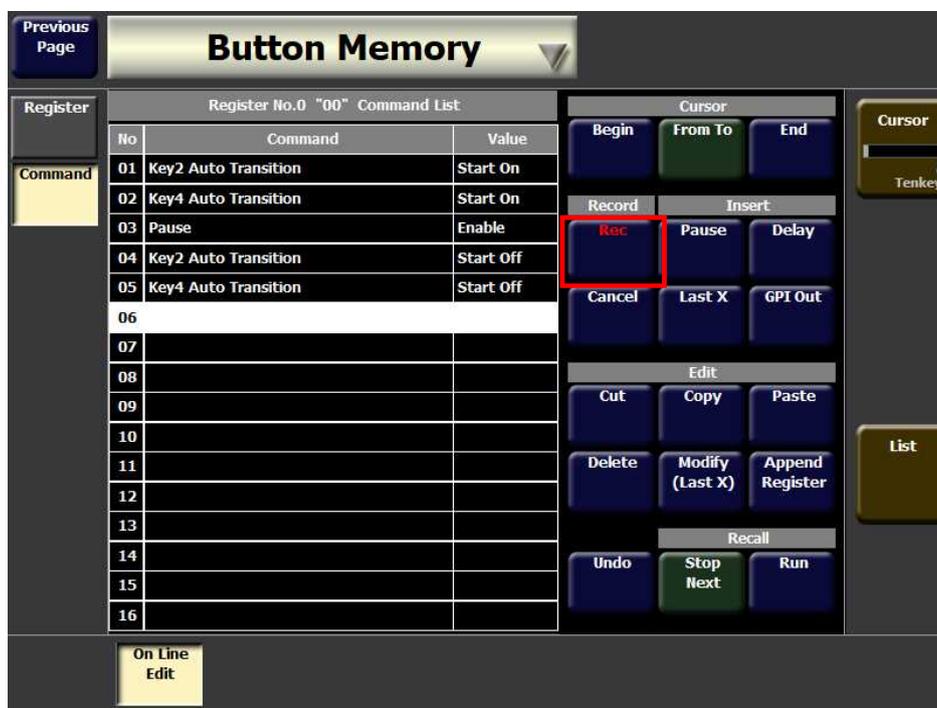
手順 5 : Pause 釦を ON して下さい。(画像 5)



画像 5

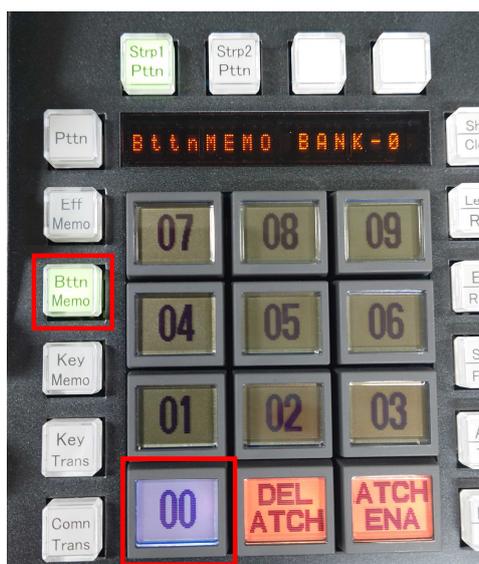
手順 6 : 操作卓より、Key 釦を OFF して下さい。(画像 6)

登録内容は以上です。再度 REC 釦を押して登録完了します。



画像 6

手順 7 : 操作卓の Bttn Memory 釦を押すと、写真のように 00 番の釦が押せる状態となりますので、釦を押して登録した KEY が連動して ON/OFF する事を確認して下さい。(画像 7)



画像 7

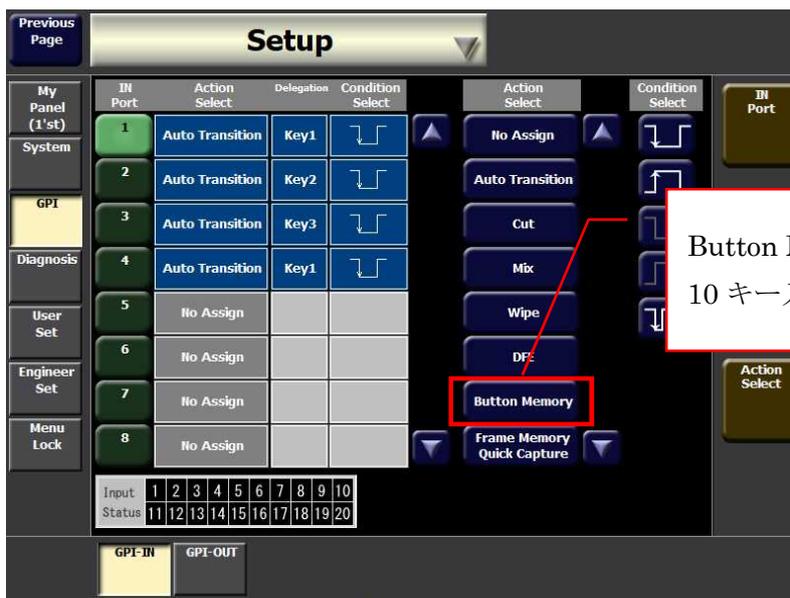
【GPI 登録手順】

手順 1 : Setup メニューの GPI 設定メニューより、IN の設定を Button Memory の 0 番に変更します。(画像 8)
(ここでは通常は Key1 の設定の項目を変更します)



画像 8

手順 2 : Setup メニューの GPI 設定メニューより、IN の設定を Bttn Memory の 0 番に変更します。(ここでは通常は Key1 の設定の項目を変更します)



画像 10



画像 10

手順 3 : 画像 11 のように設定が変更されます。



画像 11

設定は以上です。

Key1 のリモート BOX より、マクロの再生が可能となります。

以上